

道路舗装や駅名について

○土木関係です。これについて、道路の舗装を早く進めてほしいという「たより」が、一番多いようでした。市農 県道については、今までは中心部から市外へ出るのに完全に舗装された道路は、一本もない状態でした。これが四十六年中に、新潟、新発田、水原、島根方面へ抜ける各県道の舗装が完了しました。両方内は、明年度中に終わります。新潟方面、前新田沖方面については、幅員を広げるための改良が進まない、路舗装につき込みたいと思っ



広場の舗装や駅名の変更が望まれる葛塚駅

ています。このような砂丘砂などの採取は、砂利採取法の適用を受ける行為です。しかし、運送業者や土木業者の中で、法に基づく認可を受けないで採取しているものが、見受けられます。このような不法採取は、道路の損傷、隣地の侵食、文化財・農地の破壊などを引き起こす例が多くあります。運送業者などは、十分注意してください。

○同日舗装のことですが、葛塚駅前広場の舗装について「たより」がありました。市の表玄関でもあるから、体面上からも早く舗装してほしいということ。市農 以前から努力していること。しかし、あの広場は、国鉄用地と市の用地があり、国鉄からも負担を出してもらって舗装することになります。このため、市は過去二回にわたって、舗装のための予算を計上しました。ところが、ご存じのように国鉄は、赤字財政のため経費を負担してくれませんでした。このため建設省から公共事業の承認を得られなく、舗装できません。国鉄の負担の見込みは、ほとんどないので、その分は市負担によって、建設省の承認を受けなければならないようです。しばらくお待ち願います。

○駅に関係のあることですが、葛塚駅を豊栄駅と改めたらいという「たより」がありました。市の名称と駅名が異なるのは、不便です。私は、上越の人から、「豊栄市には、鉄道があるのか」と聞かれたことがありました。豊栄という駅を時刻表で扱ったが、見当

○下水については、どうでしょう。ことに新市街地から「たより」が多くありました。市農 下水路の整備については、まず杉名町方面の下水路幹線を四十七年度から着手する方針です。

○月曜日の朝は課長会議 市役所では、毎週月曜日の午前十時半まで、課長会議を開いています。会議には、市長・助役・収入役・教育長も出席して、重要事項を討議します。

水俣病について

「阿賀野川の魚を、水俣病の発生以前に、行商人などから買って食べた。それから健康が思わしくない」と。このようなことを訴えた人があると、最近の新聞などに報道されました。

新潟大学の精糖検査を受けたと、水俣病かどうかは、断定できませんが、次の症状のある人は、市の保健衛生課へ相談してください。

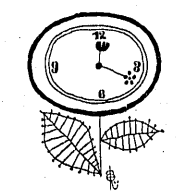
- 手足がしびれる
- 耳がよく聞えない
- 手がふるふる
- 歩くときによろよろ
- 目がぼんやりして、横のものがよく見えない

砂の採取に注意

最近、土木工事や建設工事を行なうに伴い、埋め立て用や盛り土用として、砂丘地等の砂の採取が盛んに行なわれ

時間を守ります

市役所の会議は時間厳守



市では、市の主催する会議の開催に関する事項を定め、市役所が、率先して時間を守ることになりました。

金銭は、一度失っても、努力することによって、再び取り戻すことができます。しかし、一度失った時間は、再び取り戻すことはできません。

「おれひとりくらい会議に遅れても、たいしたことはない。または「定刻に出席しても定刻に開会されないのでは、いつも少しおくれでゆくことにしている。こんな考えの人が多いため、なかなか定刻に会議が始まらない。参加者は、定刻に集まったが、主催者が来ない。会議の準備ができていない。

市では、こんなことが、いつも、どこでも平気で繰り返えされていく。少数の人の遅刻、主催者のあてどろが、多数の人の貴重な時間をむだにしている。このような悪弊をなくするために、まず市役所が、時間を守るなければならないとして、事項を定めました。

要項の要旨は、次のようになっています。

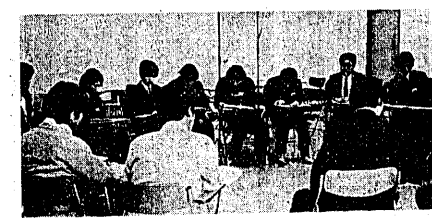
- 会議の通知は、少なくとも、当日の三日前までに届くようにする。
- 会議の開始時刻は、できるだけ集まりやすい時刻を定めて、議題やできれば会議終了予定時刻なども、あらかじめ知らせる。
- 会議は、定足数の定めがある場合は、定足数の定めがないときは、参加者が少ないときでも定刻に開始する。
- 会議開始時刻までの不参加者に対しては、出席要求の電話連絡などはしない。
- 会議の出席者は、それまでの経過説明をしない。

これは、あまりむずかしく考えず、各人が列車に乗るときと同じような気持ちでいけば、簡単に実行できることです。農協や自治会、青年や婦人のサークルなど各種団体でもこのようなことを守り、お互いに時間を、もっとたいせつにしたいものです。

高卒就職農者 泊りこみで研修会

市の高校卒業農者のついでに、三月一日と二日に、巻町の県立青少年研修センターで開かれました。

これは、高校を卒業して農業に従事する青年の奨励と研修を目的に、市の産業教育振興会が、毎年開くもので泊りこみで研修する就農者たち



このついでに、泊りがけで「こどもが大きなと」学資が心配だ、「老後の生活が、ちょっと不安だ。皆さんのこのような心配に対して、郵便局の簡易保険では、新しい保険として「学資保険」と「特別終身保険」を始めました。この保険の特徴は、次のとおりです。

加入後十年たつと保険金の二割、二十年たつと保険金の三割が、お祝い金として支払われます。

積み立てられた保険料は、県や市町村が、学校、保育園、道路などを建設するときに融資されます。豊栄市では、現在約七千五百三十万円の融資を受けていますが、四十七年度には、更に約三千万円の融資を受ける予定です。

簡易保険は、このように、事故などで死亡した場合、保険金の三倍が支払われるなど、各種の特長があります。

(市内各郵便局)

学資や老後のために 新しい簡易保険

進学用には、十五歳満期保険、大学進学用には、十八歳満期保険があります。

いずれも進学年齢に達すると、保険金を支払います。

また、契約者が万が一死亡した場合は、それが降る保険料は免除されますが、保険金は、全額補償